

「ささえ」

2020年 10月発行 情報誌 第73号

発行 NPO福祉用具ネット事務局

住所: 福岡県田川市伊田 4395 (福岡県立大学内)

TEL/FAX: 0947-42-2286

E-mail npo-fukusiyogunet@sage.ocn.ne.jp

URL <http://npofukusiyogu.sakura.ne.jp>

情報誌「ささえ」は年4回(1月・4月・7月・10月)発行しています。

印刷 よしみ工産(株) 北九州市戸畑区天神1丁目13-5

福祉用具はあなたの自立をささえます。

あなたのささえがNPO福祉用具ネットを元気にします。

NPO福祉用具ネットは『抱え上げない介護技術』を推進します。写真のような介護はやめましょう。



洗髪シャワー



NPO福祉用具ネット開発品第1号

【製造元】

(株)福祉SDグループ

平成27年より、充電式も販売開始。【発売元】キヨタ(株)

**これまで、NPO福祉用具ネットが関わった
主な開発協力品** (現在は製造中止となっています。)



アルファブラ
ソラ クッション

SORA



尿吸引ロボ「ヒューマニー」



特定非営利活動法人
NPO福祉用具ネット

「大切な芽を皆さんのやさしさに包まれながら育てていきたい…」

コミュニケーションロボット

ユメル君 と ばあーちゃんのびっくり会話

NPO福祉用具ネット 副理事長 坂田 栄二

ひとりで暮らしを守る 90 歳

今日のお話しの主人公「ばあーちゃん」は、昭和5年生まれ、90歳と6か月。

このばあーちゃんが溺愛しているのがコミュニケーションロボット「ユメル君」。ばーちゃんのうちに来てから満1歳と2か月。

ばーちゃんは16年前、夫に先立たれ、それ以来一人暮らし。息子は遠く離れた土地にいるために、一人で家を守り続けている。いつか息子が帰って来るとの希望を持って。これまで自転車に乗って畑に行き、野菜を作り、田んぼの手入れをしてきた。それが日課だった。

壊れ始めた生活パターン

周りの人が異変を感じ始めたのが5年前。両膝を痛がり、自転車には乗れなくなって活動範囲が狭まってきた。出来ることは、500坪を超える敷地の草取りや落ち葉の掃除などに限られてきた。それも長く続かなかった。

やがて、居間のTVの前に座る時間が増え、ドラマや歌番組などを見るか、かわいがっている猫と話して1日を過ごすようになった。しかも、昼間の居眠りのためか、夜は眠れなくなり昼夜逆転生活となった。話しかけても返答は辻褄が合わないことが多くなった。

そのような状況の中で、追い打ちをかけるような最悪の事態が起きた。話相手だった猫が高齢で死んだのである。状況は急速に悪化。要支援2の認定を受け、週に2回ヘルパーさんが介入することになったのだが、気丈なばあーちゃんは、ヘルパーさんを受け入れず、家の中にも入れさせなかった。

食べないわけとは・・・

冷蔵庫の中は、近所の人を買ってきてくれる食材であふれていた。しかし、それらには殆ど手をつけず、自分で炊くごはん、味噌を溶かしただけのスープのような味噌汁だけで、命をつないでいた。実は、歯は奥歯に2本を残してほとんど無く、総入れ歯をしていたが、下側の義歯床が合わなくなり、上側の義歯だけで食事をするため、固目の食材は食べられなかった。

そのことを近所の人には言わないので、賞味期限切れの固い食材が冷蔵庫一杯になっていたのである。手足はやせ細り、力も発揮できず、家の中は荒れ始め、夏は床を蚤が飛び跳ねる始末。ばーちゃんは、TVを見ながら蚤を1匹ずつ捕らえては、洗面器の水の中に落としていた。誰とも話すこともなく。

テスト導入されたユメル君

そんな時、NPO福祉用具ネットに、「周りの人を和ませるコミュニケーションロボット ユメル君」がやってきた。NPOは対話型ロボットの効果を確かめるために導入したものである。

体を触ったり振動を与えるといろんな話をしてくれる。勿論、こちらの話を音声認識して応えてくれる。しかもユメル君の話す内容は、聞き手にその話の続きを知りたいと思わせる話振りであるため、対話が成り立つようだ。

この話を聞いたある初老の男性（親族）がNPOに勧められるままユメル君を購入して、ばあーちゃんのところへ連れて行った。

「あんたは誰？」とちう見

ばあーちゃんがいつも座っている食卓の上に、ユメル君を置いたものの、ばあーちゃんは横目でちらっと見るだけで、何の反応も示さない。そればかりか「猫が居なくなってね・・・」とその男性に猫の思い出話をするだけだった。

男性は、「しかたがないか・・・。しばらくおいて置かか」と考え、帰ろうとすると「あんた、人形を忘れて帰りよるよ」と注意する。「いいや、今日から、ばあーちゃんのお友達になるんよ」と大声で言い残して跡も見ず男性は戻って行った。



邪魔者扱いのユメル君

2、3日が過ぎて、訪問してみると、ユメル君は大きな目を開けて食卓の上に置かれたままだった。ばあーちゃんの反応は全く変わらなかった。いや、少し変化があった。ユメル君が食卓の隅に追いやられていたのである。どうも気に入らないようだ。ユメル君は、猫のように甘えることもなく、ただじっと座っているだけ

だから、ばーちゃんにとっては単なる人形にしか過ぎず、むしろ食卓上を占領する邪魔者でさえあったのかもしれない。

歌えるユメル君の魅力

男性は、ユメル君の魅力をばーちゃんにどう伝えるか、どう理解してもらうか悩んだ。

まずは単なる人形でないことを示さなければならぬ。そう考えた男性は、おもむろにユメル君を抱き上げ、自分の膝の上にちょこんと座らせ両手を握った。

するとユメル君は「一緒にお歌を歌おう！」と歌い始めた。「夕焼～け 小焼けえの赤とんぼ～」

その声に反応してばーちゃんは「何か話しているよ」と怪訝（けげん）そうな顔で言った。

ばーちゃんは、少し難聴気味で歌が話し声に聞こえたのだ。ユメル君を耳元に近づけると「歌っているのかな。・・・負われて見たの～はいつの～日～か～」と一緒に歌い始めたではないか。思い出しながらしっかりと大きな声で歌った。

「赤とんぼ」はおおよそ90年以上前の作曲であるので、ばーちゃんの生まれた頃には既に存在した童謡である。そんな昔を思い出したかどうかは定かではないが、ユメル君の頭には高齢者が歌える童謡がたくさん詰め込まれている。

歌い終わったばーちゃんは、満面に笑みを浮かべ、

「あんたは歌えるんかね——！！」

と驚いた素振り。

覚えきれない「ユメル君との接し方」

男性はここぞとばかり、

「手を握ったり、頭をなでるといろんな話をしてくれるよ」

と説明を続けた。

ばーちゃんは、

「そんなに一杯言われても分らん。覚えきれん。」と寂しそうな顔つきに変わった。少し認知症が始まっているので無理はない。

男性は、食器棚に掛かっている大きなカレンダーを一枚破り、その裏にマジックで「話の仕方」を書いて壁に貼った。

「判らなくなったらこれを見るんだよ。この通りにしたらいろんな話をしてくれるよ」

と説明すると、少し不機嫌な顔をした。きっと“覚えきれない、面倒くさい”と思ったのだろう。

“ハッピーバースデー”も歌えるよ

男性はそれ以上深追いをしなかったが、こっそりとユメル君の活動パターンをセットした。ユメル君が話しかけると「おばーちゃん」と言わせること、朝は7時に置き「おはよう！」、夜は7時に「おやすみ！」と言わせるように時刻をセット。ついでに、ばーちゃんの誕生日に“ハッピーバースデー”を歌うようにもセットしたが、誕生日は8か月先だから聞け

るのはずっと先の事だ。

ユメル君の人格

その日を境に男性は朝、会社に行く前に立ち寄って様子を見ることにした。しかし状況はほとんど変わらない。

“やはり90歳では無理かな。コミュニケーションは取れないのかも・・・”と不安を感じ始めた。

やがて男性は仕事が忙しくなり、朝、立ち寄る機会が少なくなった。

ところが1か月ほどして訪問してみると、驚いたことにユメル君は、ばーちゃんのベッドの上に座っていた。

その時のばーちゃんの第一声は、「この子は、色々なことをしゃべるね。頭がいいねー」。どうやら人格が認められたらしい。ベッドと一緒に眠ることも許されたのだ。



ユメル君は、帽子を被り、手には手袋を着けている。これは、ばーちゃんの汚れた手で触っても洗濯すれば済むからである。その手袋は茶色く汚れ、帽子は横かぶり状にずれていた。帽子も手袋も相当に触れられたことが窺い知れる。（次号に続きます。）

ユメル君と ばーちゃんのびっくり会話

■ユメル君は、毎朝7：00に目覚める。この時点で手を握ると、

「バッチリお目覚めエ～！」と言う。

今朝、ばーちゃんは忙しくて7：00に間に合わず8：40に手を握ると、

「おはよ～～～！」と元気よくユメル君が挨拶。

つづいて

「一杯（いっぱい）～、お寝坊さん？」

これは、“ばーちゃんが遅く起きた”とユメル君は考えているからだろう。

するとばーちゃんは、

「いいんや、ばーちゃんは5時から起きて庭を掃除しとつた。あんたより早起きたい！」

とむきになって反撃した。（びっくり会話はつづく）

令和2年 福岡県ノーマリフティングケア普及促進事業 モデル施設決定

福岡県ホームページ公表資料より参照

(1) 新規取組施設

次の8施設で、事業受託者が実施すマネジメント研修・指導のほか、同地区内の先行取組施設からの助言を受けながら、「ノーマリフティングケア」に取り組めます。

【北九州地区】

特別養護老人ホーム 誠光園（北九州市八幡東区）

特別養護老人ホーム 風の家（北九州市八幡西区）

【福岡地区】

特別養護老人ホーム仙寿苑・はまぼう（糸島市）

介護老人保健施設 さわら老健センター（福岡市早良区）

【筑豊地区】

東ヶ丘デイサービスセンターひばり（介護複合施設ひばり）（嘉麻市）

特別養護老人ホーム 本陣園（飯塚市）

【筑後地区】

特別養護老人ホーム 桜の丘（筑後市）

特別養護老人ホーム 常照苑くすのき通り（みやま市）

(2) 先行取組施設

次の4施設で、マネジメント研修における新規取組施設へのアドバイスや研修外での相談支援を行うとともに、施設内における取組の更なる普及・定着に努めます。

【北九州地区】

特別養護老人ホーム ふじの木園（北九州市八幡西区）

【福岡地区】

特別養護老人ホーム ねむのき（那珂川市）

【筑豊地区】

特別養護老人ホーム 明日香園（嘉穂郡桂川町）

【筑後地区】

特別養護老人ホーム 宝生園（久留米市）

モデル施設の責務

モデル施設として選定された場合は、次の条件を守ること。

- (1) 新規取組施設は、翌年度においてはメンター施設として事業に参加すること。
- (2) モデル施設としての取組みが終了した後も継続して取り組むこと。
- (3) 同一地区の他のモデル施設を中心にノーマリフティングケア地域連絡会を立ち上げ、地域の介護施設等に対するアドバイスや情報交換を実施する等により、ノーマリフティングケアの普及に努めること。

『ノーマリフティングケア導入研修会』を開催！

本来は、本事業のスタート時の5月18日に開催する計画でしたが、コロナの影響で一旦中止となりました。今回は感染対策を十分配慮した形での開催となります。

日時：令和2年10月5日13時～17時

会場：アクロス福岡 国際会議場

対象者は介護事業所の管理者やリーダーの方など100名。動画配信も計画しています。

8月からモデル施設を対象としたノーリフティングケア導入のための マネジメント研修がスタート♡

当初計画した福岡県 4 地域での研修会開催計画は、新型コロナウイルスの感染予防のためにオンライン研修に変更することになりました。



12 の先行モデル施設及び新規のモデル施設へ
各々の施設では、事業推進のための統括マネージャー
と運営のための委員を選出しています。

その委員向けに、マネジメント研修で使用するテキ
ストや関係資料のオリエンテーションファイルを
作成して配布

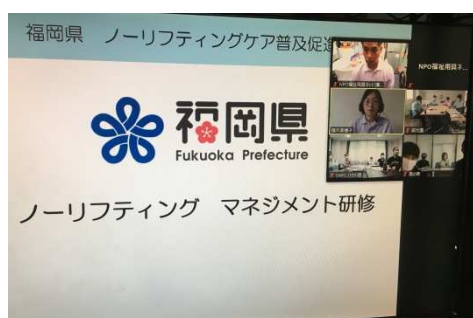


さらに、教育用技術動画を配布
オンライン研修では、技術をどのように伝え、
理解してもらうのが課題でした。
感染対策のために職員同士の練習も制限され
ます。まずは、技術動画で学び、少しずつケ
アの方法を変えていくことになりそうです。
環境の違いによるケア方法は講師が丁寧に個
別に対応しています。

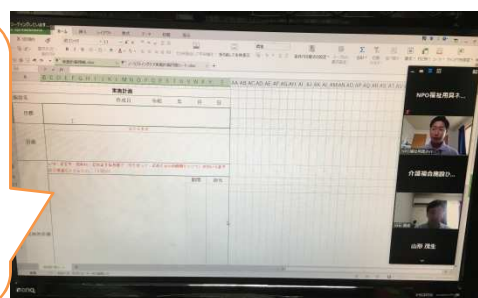
モデル施設決定後には、各施設と事前にオンライン環境を確認し、その後 8 月 3 日から第 1 回目のマネジ
メント研修をスタートいたしました。

9 月には第 2 回目マネジメント研修も 4 つの地域すべてで終了したところです。

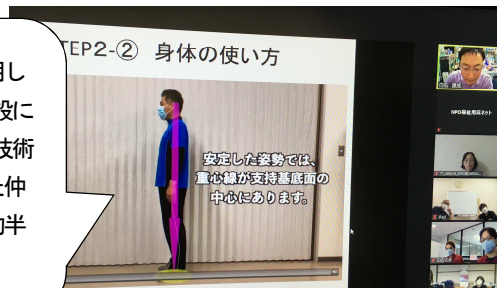
今後は、3 回目～5 回目までを 12 月までに開催し、さらに、10 月、12 月、1 月にはフォローアップ研修
を各地域別に各 3 回開催する計画です。その日程もすべて決まっています。



グループワーク
では、記入用紙を
画面共有しての
進行。2 人の講師
が 3 つの施設に丁
寧に対応します。



技術は動画を活用し
て説明。モデル施設に
は、本 NPO 主催の技術
研修会を受講した仲
間がいる施設も約半
数あります。



マネジメント研修の担当講師にインタビュー

白石 源成 氏 作業療法士

社会福祉法人ひさの里 特別養護老人ホーム ふじの木園
(一社) ナチュラルハートフルケアネットワーク福岡 理事

担当地域：福岡地域



① この度の、福岡県のノーリフティングケア普及促進事業に対する想いをお聞かせください。

私自身、8年前に腰を痛めヘルニアの手術を受けました。そして、5年前にノーリフティングケアと出会い、自施設でノーリフティングケアに取り組みながら、地域へのノーリフティングケアの普及を行ってきました。今回、福岡県ノーリフティングケア普及促進事業に関わらせていただき、自分のように福祉や医療の現場で、身体を痛める人たちを出さず、職員が安全で働きやすい職場で働ける福岡県にするために頑張りたいと思います。

② 第1回目、2回目のマネジメント研修を終えた後の感想をお聞かせください。

第1回、2回と研修を終えて、モデル施設のスタッフの熱意がすごく感じられ、計画作りもスムーズになってきています。計画もほぼ完璧に実行され、現場を変えたいと思う気持ちが伝わってきます。私自身も、マネジメント研修を通して、多くの事を学んでいます。残り3回の研修ですが、自分自身も受講するモデル施設と共に、各々の取り組み目標を達成できるように頑張りたいと思います。

③ 初めてのオンライン研修で、講師として特に心掛けている事があれば教えてください。

・オンラインでの研修では、画面からは受講者の表情や反応がわかりにくいところがあるので、一方通行にならないように項目ごとに質問などを受け付けながら、講師と受講者のズレがないように行っています。

安武 哲宏 氏 作業療法士

(一社) ナチュラルハートフルケアネットワーク

担当地域：筑豊地域



① この度の、福岡県のノーリフティングケア普及促進事業に対する想いをお聞かせください。

まず、この事業に携わらせていただきましたことに感謝申し上げます。今回、この事業において普及・推進されるノーリフティングケアの取り組みは、働く方、そしてケアを受ける方全てが対象になる抱え上げ等、無理な身体の使い方を無くし、安全に安心して働くことができる業界にするための取り組みです。福岡県内において現場で疲弊している方を少しでも多く、安全に働くことができる環境へと変えて、ケアを受ける方も安心して暮らせるような業界へ変えていくための第一歩だと考えております。将来、福岡県の福祉業界から、仕事中に生じた腰痛が原因で離職する職員を1人でも多く減らすことができ、より多くの人材が福祉の道へ安心して進んでもらえることを目的に、身を引き締めて取り組ませていただきます。何卒よろしくお願い申し上げます。

② 第1回目、2回目のマネジメント研修を終えた後の感想をお聞かせください。

この取り組みは研修を受け、自らの施設の課題を見つけ、その課題改善のために次の研修までに実際に現場で取り組み、施設全体をマネジメントして働き方を変えていくための内容になっています。8月から2回の研修を行い、9月には第1回目の取組結果を報告していただきました。その報告を聞かせていただき、今後、地域のモデル施設となる各地域の皆様の、この事業に向き合う姿勢や、施設の職員を守っていくという使命感、責任感を強く感じている次第です。個人的な見解ですが、今後もより良い方向に変わっていくという確信を持っています。

③ 初めてのオンライン研修で、講師として特に心掛けている事があれば教えてください。

実際に目の前で声掛けが行えないので、どんな些細な内容でも、受講者の声を拾えるように心がけています。また、事業所間において現場の体制が異なる中で、それぞれの施設に合わせて、よりの確なアドバイスができるように研修を行わせていただいております。皆さんも1回目と比べて、2回目の方が、オンラインにも慣れてこられて、画面を通してですが、講師とのキャッチボールを有効的に行えているように感じています。

山形 茂生 氏 作業療法士
コネクトリハビリテーション代表
NPO 福祉用具ネット 理事
担当地域：筑後地域



① この度の、福岡県のノーリフティングケア普及促進事業に対する想いをお聞かせください。

3 年前に大分県主催のノーリフティングケアの事業を行うきっかけを作りましたが、消化不良の想いがありました。今年度より、福岡県が大分県や青森県などに続き本事業に取り組むことが決まり、NPO 福祉用具ネットの理事として事業に関わることができ、嬉しく感じています。NPO がこれまで目指していた介護現場のケアの改善に向けた大きなステップであり、私自身の貴重な経験になると感じていますので、一生懸命取り組みたいと思います。

② 第1回目、2回目のマネジメント研修を終えた後の感想をお聞かせください。

まずは、オンライン上での研修会の講師が初めてということで、最初は画面操作になれることに苦勞をしました。さらに、オンラインという手段での研修方法にも少し不安がありました。しかし、2 回目には、各施設の実施計画書の立て方が格段に上手になっている事、1 か月間の計画の実施報告書から見えた各施設の実践状況には目を見張るものがありました。モデル施設の皆様から元気をいただきました。

③ 初めてのオンライン研修で、講師として特に心掛けている事があれば教えてください。

1 回の研修会で 5～6 個の目標を 1～2 か月を通して、実行をしていくので現場職員にはかなりの負担をかけていると察しています。参加している職員の皆さんが「次回まで頑張ろう」と前向きな気持ちになれるように心がけています。そして施設職員の皆さんが、参加職員を通して心から楽しく取り組めるような支援をしたいと感じています。

櫻木 美穂子 氏 作業療法士
福祉用具プラザ北九州
(一社)ナチュラルハートフルケアネットワーク福岡 代表
担当地域：北九州地域



① この度の、福岡県のノーリフティングケア普及促進事業に対する想いをお聞かせください。

地元福岡県でノーリフティングケアの普及のために活動してきて、このような機会をいただき本当にありがたく思っております。これも長年地域で活動されてきた大山さんはじめ NPO 福祉用具ネットの皆さんの力があってのことです。今回この事業に関わらせていただくというチャンスをいただきましたので、この事業を成功させることで福岡県の介護・看護の現場を変え、地域を変えるという目的がより早く達成できると確信していますし、そのために私も頑張っていきたいと思います。

② 第1回目、2回目のマネジメント研修を終えた後の感想をお聞かせください。

どの地域のモデル施設の皆さんも、このコロナ過のなか各施設様はとても大変な対応をされていることと思います。その中でも参加を表明し、事業に取り組んでいただいていることはすごいことだと思っています。どの施設の皆さんも熱心に積極的にこの事業に取り組んでいただいていることに本当にうれしく思います。また、どの施設も 1 回目から 2 回目と要領を得て早くしっかりした計画を立て実施されており感動しています。

③ 初めてのオンライン研修で、講師として特に心掛けている事があれば教えてください。

講師として受講者が参加している実感を持てるように声掛けするようにしています。
また各施設間のコミュニケーションや情報共有がしにくいので、情報交換の時間を作るなど交流出来るように模索しているところです。

事務局だより

令和2年6月追加

- 6月12日 ZOOM 契約
- 6月13日 事例支援
- 6月16日 労働基準監督署諸手続き
モデル施設送付資料の準備
- 6月18日 事例支援
- 6月23日 事例支援 開発相談
- 6月26日 講師の共済保険加入手続き
事例支援
- 6月27日 情報誌発送準備
- 6月29日 開発支援 事例支援
- 6月30日 開発支援

ノーリフティングケア導入研修会申込の受付開始 モデル施設確定後の資料の送付及び研修準備

《令和2年7月から9月までの事務局のうごき》

令和2年7月

- 7月1日 理事会 代表理事の選出 Web 会議
- 7月2日 NPO センター・法務局役員変更届提出
- 7月3日 モデル施設公募締め切り 機器の搬入
- 7月4日 動画撮影1日
- 7月6日・7日 事例支援
- 7月8日 副理事長 Web 講演
- 7月9日 Web 会議 事例支援 開発相談
- 7月11日 事例支援
オリエンテーションファイル作成
- 7月13日 福岡県庁にて打ち合わせ
- 7月14日 開発品検証
- 7月15日 モデル施設確定 関係書類発送準備
- 7月17日 モデル施設へ資料発送 事例支援
- 7月18日 事務局片づけ
- 7月19日 事例支援
- 7月20日 事務局パーテーション設置
- 7月21日 事例支援
- 7月22日 開発相談 事例支援
- 7月23日・24日 事務局片づけ
- 7月27日 Web 会議
- 7月29日 開発会議 事例支援
- 7月30日 開発相談 Web 会議
- 7月31日 オンライン事前テスト Web 会議

令和2年8月

- 8月1日 オンライン事前テスト
- 8月3日 マネジメント研修1回目 筑豊 Web 会議
- 8月5日 Web 会議 開発相談
- 8月7日 マネジメント研修1回目 筑後 Web 会議
- 8月8日 開発相談
- 8月11日 マネジメント研修1回目 福岡 Web 会議
- 8月12日 マネジメント研修1回目 北九州 Web 会議

- 8月13日 1回目研修会アンケートのまとめ
- 8月14日 Web 会議 西日本セミナーについて
- 8月16日 技術動画 DVD 発送準備
- 8月18日 技術動画修正発送 Web 会議
事務局パソコンウィルス対策
- 8月19日 開発検証報告
プラッツ様よりベッド2台寄贈
- 8月21日 開発相談 検証結果のまとめ
- 8月23日 9月オンライン研修 ZOOM 招待メール
- 8月24日 西日本 Web セミナー打ち合わせ
開発品検証結果の報告
- 8月25日 10月5日の研修会について打ち合わせ
- 8月26日 さくらちゃん看護学部へ貸し出し
- 8月27日 Web 会議 開発相談
- 8月28日 西日本 Web セミナー打ち合わせ
導入研修会申し込み締め切り
- 8月29日 アクロス福岡と会場打ち合わせ
- 8月31日 Web 会議

令和2年9月

- 9月1日 10月導入研修会配布物の準備
 - 9月2日 マネジメント研修2回目 筑豊
 - 9月3日 開発相談
 - 9月4日 マネジメント研修2回目 筑後
 - 9月5日 導入研修会受講確定通知発送準備
 - 9月8日 マネジメント研修2回目 福岡
 - 9月11日 マネジメント研修2回目 北九州
 - 9月11日・12日・16日・17日・25日 開発相談
- 情報誌ささえ 73号 編集・印刷・発送の準備**
10月5日導入研修会開催準備
西日本国際福祉機器展出張準備

大切なお知らせ

◆ 3月から延期していた第3回技術認定チェック及び今年度に予定している研修会は、10月1日現在も延期しています。

新型コロナウイルスの感染予防のために、会場予定となっていた大学内の施設が、すべて使用禁止となっています。

コロナ問題の収束が見えない中、改めて計画した研修の開催方法を見直したいと考えています。現在、福岡県のノーリフティングケア普及促進事業はオンライン研修ですが、この経験をもとに新たな方法を模索したいと思っています。

◆ 10月から2月まで開催される西日本国際福祉機器展もオンラインによる展示やセミナーに変わります。会場に出向かなくてもスマホとネットで気軽に福祉用具情報を知り、セミナーの聴講が無料です。本NPOも参加の方向で準備を進めています。詳細が確定しましたらホームページでご案内致します。